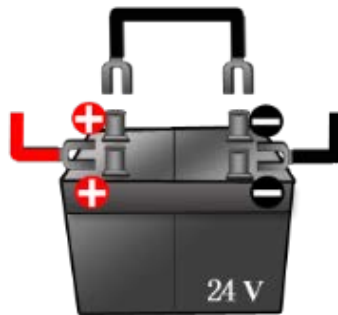


◆ 取付方法

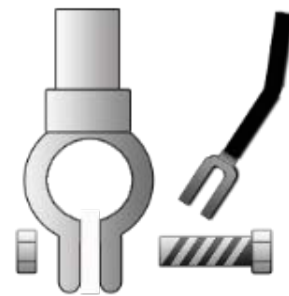
鉛バッテリー活性化装置「リフレ」は、下記の手順で取り付け可能です。



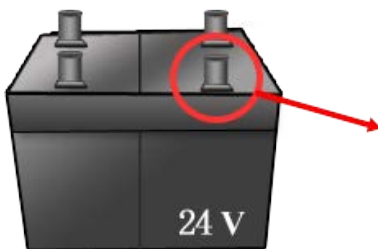
12V の場合
 (O 型端子 6.4mm 径)



直列 24V の場合
 (Y 型端子 8.4mm 径)



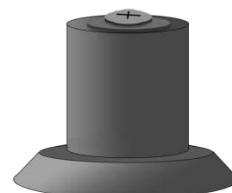
ナットを緩め隙間に端子を挟み込む



組バッテリー24v・36v
 ・48v の場合



端子に穴を開ける
 (ビス仕様：M4×10 タッピング)



パルスビーム端子を
 タッピングビスで固定

◆ STEP 1

必ず車の (エンジン) (全ての電装品) のスイッチを OFF にしてください。

◆ STEP 2

バッテリーの位置を確認して下さい。

(外国車の場合は、エンジンルームにバッテリーが無い場合があります。)

◆ STEP 3

1. バッテリーのマイナス端子を緩めパルスビームのマイナス端子（黒コード）を取り付けてしっかり締め付けてください。
2. バッテリーのプラス端子を緩めパルスビームのプラス端子（赤コード）を取り付けてしっかり締め付けてください。

（注意）

- ※バッテリー端子が汚れている場合は、接続端子やコードの腐食・接触不良の原因となりますので紙やすりや金属ブラシで汚れを落としてから、しっかり締付けてください。
- ※端子のネジをゆるめるだけで差し込めるようになっています。
- 既に配線されているコードを外すと時計、オーディオ等のメモリーが消える可能性があります。
- ※取り付け後は、端子がしっかりと固定されている事を確認して下さい。
- 腐食防止の為接続部分にグリースを塗りつけて下さい。

◆ STEP 4

- リフレ本体は、汚れをよく拭き取った平らな場所に両面テープで固定してください。
- ※ボンネットを閉めた時、パルスビームが接触しない位置に固定して下さい。

◆ STEP 5

- リフレ本体のLED ランプ（赤色）の点灯により動作を確認して下さい。
- ※LED ランプが点灯していない場合は、正常に作動していません。

◆ STEP 6

- リフレ本体のコードは、邪魔にならないように結束バンド等で束ねて下さい。

（注意）

- ※リード線は、必ず黒のマイナス端子から先に接続してください。
- ※取外す時は、必ずプラス端子から取外して下さい。
- ※作業を行う時は、手袋を着用し、感電しないよう気を付けてください。
- ※作業を行う時は、電解液が目に入らないよう保護メガネを着用してください。
- ※パルスビーム本体の取り付けは、振動に耐えられるよう確実に固定してください。
- ※バッテリーを乾いた布などで清掃しないでください、静電気による引火爆発の原因になる恐れがあります。

その他、取扱説明書をよく読み「使用上の注意」を確認してください。

（株）メルモ